

令和 7 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人檜葉町社会福祉協議会

令和7年度 事業報告書

1. 事務局

(1) 法人運営

理事会・評議員会等を下記のとおり開催し、適切な法人運営に努めました。

会議名	開催日	主な議題
理事会	令和7年 6月 2日	職務執行状況報告、令和6年度事業報告、決算、役員候補者の選任、評議員候補者の推薦、評議員選任・解任委員会の開催
	令和7年 6月24日	会長及び副会長の選定
	令和7年12月 5日	職務執行状況報告、定款の一部改正、定款細則の全面改正、補正予算
	令和8年 3月 2日	理事候補者の推薦、補正予算、令和8年度事業計画、予算、利益相反取引に該当する契約の承認
評議員会	令和7年 6月24日	令和6年度事業報告、決算、役員の選任
	令和7年12月22日	定款の一部改正、補正予算
	令和8年 3月24日	役員の選任、補正予算、令和8年度事業計画、予算
監事会	令和7年 5月27日	令和6年度事業・会計監査

(2) 自主財源の確保・寄附金の受領

今年度も行政区長会に参加し、各行政区の区長に対して社協会費や日本赤十字社の社費、共同募金の戸別徴収をお願いしました。上井出、下井出、北田、下繁岡、上小塙、下小塙、山田岡、山田浜、大坂の各行政区で戸別徴収を行っていただき、松館、上繁岡、波倉、宮団、前原行政区では賛助会費として納入していただきました。また、42の企業・団体等からのご協力が得られ、その他の個人分と合わせて、約135万円の会費が納入されました。令和8年度以降も同様に継続していきます。

寄附金の受領については、一般寄附金が17件で110,557円、ご遺志金が51件で1,090,000円、合計で1,200,557円を受領しました。ご遺志金については告別式に参列して感謝状の贈呈を行い、一般寄附金については感謝状贈呈式を開催する予定となっています。

(3) 職員研修の実施

今年度も、毎月1回の職員研修を実施しました。また、外部研修については、オンライン形式の研修を中心に受講し、職員の資質向上に努めました。

(4) 人事・労務・会計管理

今年度の人事管理については、非常勤職員6名を採用し、不足している事業所への配置を行いました。来年度以降も継続して採用を行い、人員不足の解消を目指します。

労務管理については、働き方改革関連法等の趣旨に従い、有給休暇の取得の奨励を行い、就業環境の適正化に努めました。

会計管理については、入出金と預金残高の管理、毎月実施する月次処理等を適正に行

い、法人の経営状況の改善に努めました。

(5) 福祉関係団体の運営支援

① 檜葉町民生児童委員協議会

檜葉町民生児童委員協議会の事務局として、会計管理や事業報告の作成、毎月1回開催される定例会の資料作成及び講師の派遣調整、福島県民生児童委員協議会等の関係機関との連絡調整、各委員への通知や資料等の発送等を行いました。

② 檜葉町老人クラブ連合会

檜葉町老人クラブ連合会の事務局として、会計管理や事業計画・報告等の作成、総会や各種会議の開催、勉強会や研修会の企画、開催等を行い、活動している単位クラブの支援を行いました。

③ 檜葉町遺族会

檜葉町遺族会の事務局として、会費の徴収や役員会・総会の開催準備及び資料作成、戦没者慰霊祭の開催準備、竜田神社・木戸八幡神社で行われる招魂祭の開催準備、参拝研修、遺族会だよりの発行、福島県遺族会等の関係機関との連絡調整等を行いました。

(6) ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターの運営については、通常通りのボランティアの募集・広報周知活動、活動に関するコーディネート、ボランティア保険への加入手続き等を行いました。また、「サマーショートボランティアスクール」、「ボランティア講座」を開催し、町民のボランティア意識の醸成に努めました。令和8年度以降も継続して開催し、地域共生社会の実現を目指します。

【令和7年度実績】 ボランティア登録者数 41名 活動者数 延 194名
サマーショートボランティアスクール参加者 2名
ボランティア講座参加者 延 65名（社協職員含む）

(7) 在宅福祉サービス事業の実施

在宅福祉サービスについては、ボランティアの方々の協力を得ながら例年通り実施しました。また、行政とサービス内容の拡充等に関する検討会を行い、利用対象者の範囲や自己負担、新たなサービスの導入等を始めました。

【令和7年度実績】 登録者数 78名
配食サービス 延 1,481食 車椅子同乗軽自動車貸出サービス 延 29件
家族介護用品サービス 8名 外出支援サービス 延8件 理美容サービス 2名

(8) 低所得者等への支援

① 生活援助資金貸付事業

町内に居住する低所得世帯に対して生活費の貸付を行う事業で、相談対応や滞納者への督促状の発送等を行いました。

【令和7年度実績】 返済 3件 40,000円 相談対応件数 5件

② 生活福祉資金貸付事業（福島県社会福祉協議会からの委託事業）

檜葉町に住民票を有する低所得者に対して生活費や就学資金等を貸付する事業で、今年度の通常貸付は3件で、それ以外に新型コロナウイルスによる収入減少に係る特例貸付について、償還に関する相談対応、フォローアップ支援等を行いました。

【令和 7 年度実績】 相談対応件数 延 3 9 件

新型コロナに係る特例貸付の償還に関する相談件数 延 4 9 件

避難指示解除以降、町内に居住する困窮世帯は増加傾向にあり、来年度以降もさらに増加することが予想されるため、上記貸付事業の相談に加え、生活困窮者自立支援機関等との連絡調整に努め、住宅確保給付金や新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の相談等にも応じ、生活困窮者の自立支援に努めていきます。

生活困窮 相談対応件数 1 1 件 フードバンクによる食糧支援 9 件

支援調整会議（県社協主催） 延 3 回

(9) 権利擁護事業の充実・強化

①日常生活自立支援事業

判断能力が低下している高齢者や障がい者等の日常的な金銭管理、福祉サービス等の利用援助、通帳等の預かりを行い、権利侵害の防止に努めました。

【令和 7 年度実績】

ア. 認知症高齢者等	利用者	3 名	援助回数	延	7 6 回
イ. 知的障がい者等	利用者	3 名	援助回数	延	9 1 回
ウ. 精神障がい者等	利用者	3 名	援助回数	延	6 6 回
エ. 上記以外	利用者	1 名	援助回数	延	3 0 回

②法人後見事業

令和 4 年度から事業を開始し、今年度に初めての受任がありました。令和 8 年度以降も関係機関で開催される研修会等に参加して制度の習熟に努め、成年後見人等のなり手がいない方々の支援を行っていきます。

【令和 7 年度実績】

ア. 認知症高齢者等	利用者	1 名	援助回数	延	2 6 回
------------	-----	-----	------	---	-------

(10) 広報・情報提供体制の充実・強化

今年度の広報活動については、広報誌の発行は例年通り行い、紙面の充実にも努めました。また、ホームページの掲載内容の充実も図れました。来年度以降も、ホームページによる情報発信の強化に努めてまいります。

(11) 指定管理業務

今年度も、檜葉町保健福祉会館の指定管理業務を受託し、施設の適切な保守管理、運営に努めました。

【令和 7 年度実績】

		延利用回数	延利用者数
1 階	大会議室	2 2 3 回	3, 8 6 4 名
2 階	大集会室	9 7 回	1, 1 8 5 名
	遊戯室	1 8 1 回	9 1 4 名
3 階	機能回復訓練室	2 3 8 回	3, 7 1 0 名
	老人室	1 4 7 回	1, 6 3 0 名
	合 計	8 8 6 回	1 1, 3 0 3 名

※ 2 階小集会室は、令和 3 年 6 月から一般社団法人 8 色が賃借。

(1 2) 日本赤十字社事業の推進

日本赤十字社事業については、9つの行政区で社協会費と同じように社費の戸別徴収を実施していただき、前年度同様の社費徴収ができました。また、お寄せいただいたご遺志金については、告別式への参列時に感謝状の贈呈を行い、災害発生時には、義援金等の募集も行いました。

【令和7年度実績】	社費	592件	609,500円
	ご遺志金等	47件	1,000,000円
	義援金	7災害	924,393円

(1 3) 共同募金会事業の推進

共同募金事業については、9つの行政区で社協会費と同じように募金の戸別徴収を実施していただき、職域募金や町内各所に募金箱を設置しての募金活動を行いました。

【令和7年度実績】	赤い羽根共同募金	487,974円
	歳末たすけあい募金	267,500円

(1 4) 福祉車両・福祉用具貸出事業の実施

福祉車両・福祉用具貸出事業については、福祉施設に入所中の方の通院や自宅から施設への入所、急性期のレンタル物品が届くまでのつなぎ等として利用され、介護者の負担軽減等に役立っていることから、今後も定期的なメンテナンスを行った上で対応していきます。

【令和7年度実績】	福祉車両貸出	14回	福祉用具貸出	16回
-----------	--------	-----	--------	-----

(1 5) 生活支援体制整備事業の実施

生活支援体制整備事業については、就労的活動支援コーディネーターを配置し、若年層の不就労者支援として訪問相談活動を行い、農業事業所での個別作業体験や他施設利用者の施設外就労支援及び福祉農園での農業体験の実施等を行いました。

【令和7年度実績】	農福連携による支援活動	延 61回
	福祉農園による参加支援	8回

(1 6) ファミリー・サポート・センター事業の実施

ファミリー・サポート・センター事業については、こどもの預かりをお願いしたい利用会員とこどもの預かりを行う提供会員をつなぎ、子育て支援を行いました。

【令和7年度実績】	利用会員	2名	提供会員	6名	両方会員	2名
	利用回数	延 223回				

2. 地域包括支援センター

地域包括ケアシステムの構築・深化に向けて相談援助活動等を行い、地域共生社会の実現に向けた活動を行いました。

【令和7年度実績】

(1) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

介護予防プランの作成及び評価	延 1,286件
----------------	----------

(2) 総合相談支援業務

相談件数	延 3,325件	相談延人数	2,193名
------	----------	-------	--------

(3) 権利擁護業務

成年後見制度等の相談対応 延 22件 高齢者等の虐待への対応 延 12件

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント

①町の課題解決に向けたワーキンググループの開催

「福祉的課題を抱える移住者支援について」 1回

②学習会等の開催 延 8回

③介護支援専門員等の後方支援 延 104件

④介護・福祉サービス事業所連絡会の開催 1回

(5) 認知症総合支援事業

①認知症初期集中支援チーム活動 2回

②認知症サポーター養成講座の開催 4回

③認知症カフェの開催 4回

④チームオレンジの活用（個別支援） 4回

(6) 地域包括ケアシステム深化推進業務

地域共生ケア会議の開催 32回

地域包括ケアシステム構築推進シンポジウムの共催 1回

情報紙の発行による広報活動 12回

(7) 生活支援体制整備事業の実施

地域ミニデイへの支援 随時実施

地域ミニデイ情報交換会の開催 1回

3. 居宅介護支援事業所

今年度も、要介護状態となっても住み慣れた地域でその人らしく生活できるよう、本人や家族の意向に寄り添いながら、適切なケアプラン作成に努めました。町内の社会資源が限られているため、支援方法の検討やケアプランの内容等で苦慮することがありましたが、来年度以降もその人らしさと自立支援を念頭に置いた相談活動に努めます。

【令和7年度実績】

ケアプラン作成実人数 132名 ケアプラン作成件数 延 1,195件

4. 通所介護事業所

今年度は、利用者数が昨年度比で約200名増えましたが、非常勤職員の採用も増えたため、安定した事業所運営ができ、職員の休暇の取得が促進されました。来年度以降も必要に応じて職員募集を行い、安定した事業運営ができる体制の維持に努めたいと考えています。

【令和7年度実績】 開所日数 256日 登録利用者数 65名

延利用者数 6,552名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象者	5	4	4	5	4	4	5	4	5	10	11	12
要支援1							4	4	4	3	4	4

要支援 2	28	28	28	22	20	32	39	35	39	46	45	50
要介護 1	162	164	154	156	131	156	167	150	161	156	130	138
要介護 2	177	197	162	170	150	146	150	133	147	150	152	186
要介護 3	139	138	146	157	146	164	166	138	112	94	86	92
要介護 4	55	61	66	57	56	64	52	41	44	44	47	47
要介護 5	7	8	9	9	7	9	12	10	5	7	2	2
合 計	573	600	569	576	514	575	595	515	517	510	477	531

5. 訪問介護事業所・居宅介護事業所

今年度も昨年度と同様に常勤職員 2 名と非常勤職員 4 名で事業を実施しました。今年度の傾向としては、要支援者の利用が増加したことで介助中心から自立支援を促して要支援者と一緒に家事等を行う形になっています。非常勤職員の高齢化が進んでいて、若い世代の採用が必要となっている現状ですが、募集を掛けても応募がない状況となっており、今後の事業継続が難しくなっています。

来年度以降も継続して職員募集を行い、新規職員の採用でよりよいサービスの提供に努めていきます。

【令和 7 年度実績】

介護度	利用者数	生活援助中心	身体・生活	身体介護中心	合 計
事業対象者	0 名	0 回	0 回	0 回	0 回
要支援 1	3 名	3 3 回	0 回	0 回	3 3 回
要支援 2	8 名	4 1 9 回	0 回	0 回	4 1 9 回
要介護 1	6 名	3 1 1 回	9 9 回	7 9 回	4 8 9 回
要介護 2	6 名	3 6 3 回	9 6 回	1 2 9 回	5 8 8 回
要介護 3	4 名	1 9 4 回	1 回	1 8 6 回	3 8 1 回
要介護 4	0 名	0 回	0 回	0 回	0 回
要介護 5	0 名	0 回	0 回	0 回	0 回
障がい者	2 名	4 1 回	0 回	0 回	4 1 回
合 計	2 9 名	1, 3 6 1 回	1 9 6 回	3 9 4 回	1, 9 5 1 回

6. 介護予防事業所

今年度も町が契約したリハビリ専門職（理学療法士）助言・指導の下、リハビリマシンやゴムボール等を用い、利用者の介護予防に努めました。昨年度と比べて利用者が約 200 名減少しており、状態が悪化して通所介護事業所に移行する方が増えている状況となっています。

【令和 7 年度実績】

通所型事業 登録者数 110 名 開催回数 436 回 利用者数 延 3,717 名
 訪問型事業 登録者数 1 名 訪問回数 20 回 利用者数 延 20 名

7. 生活支援相談室（生活支援相談員配置事業）

今年度も、町内の訪問活動や地域交流サロンの運営に加え、社協連携避難者支援センターの運営協力、いわき市内にある復興公営住宅や生活再建住宅への訪問も行いました。いわき市に居住されている方々は、地域のコミュニティに馴染んでいない方が多く、孤立感を抱えている方が多く存在するため、一世帯ごとの訪問時間が多く掛かりますが、丁寧な訪問を心掛けました。

ただ、本事業の終息を見据え、前年度より職員数を減らしたため、訪問回数は約4分の1に減少しました。

来年度以降も、今年度と同様の活動を行い、孤立感を抱える方々の不安や悩みを相談してもらえような訪問活動を行っていきます。

【令和7年度実績】 訪問回数 延 1, 983回

サロン開催回数 147回 参加者数 延 1, 630名

8. 檜葉町放課後児童クラブ

檜葉町から放課後児童健全育成事業を受託し、放課後に保護者のいない児童を預かり、保護者の就労環境の整備と児童の健全育成に努めました。障がい児や障がいを持っていると思われる児童の預かりも行っているため、その対応に苦慮したこともあり、学校等と情報共有会議も行い、適切な支援に努めました。保護者が安心して就労できる環境づくりに取り組むとともに、児童の健全育成に向けて地域の方々と協力しながら事業を行っていきます。

【令和6年度実績】 開催日数 239日 利用児童数 延 5, 730名